

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	松沢求策ライオンプロジェクト	
事業主体 (連絡先)	松沢求策ライオンクラブ	
事業区分	特色ある観光地づくり	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	957,365 円 (うち支援金 :	695,000 円)

#### 事業内容

##### 【すでにある観光資源の掘り起こし】

これまで埋もれてきた安曇野の歴史的人物「松沢求策」と明治の木造建築見世蔵づくり「若松屋」を地元・観光客問わず、広く認知してもらい安曇野の魅力アップの一助とする。松沢求策の生家若松屋に焦点をあて、穂高駅近郊の回遊観光の拠点に据えて安曇野観光の滞留時間の増加を狙う。

##### ・松沢求策と若松屋の啓蒙活動

求策のパンフレット、資料、オフィシャルサイト開設  
定期的な勉強会・講座の開催

観光案内板の整備をし、ガイドマップ、新聞、情報誌などに掲載し、新しい観光スポットとして広めた。



勉強会の様子参加者 20 名以上

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

○勉強会などを生家「若松屋」で開催することで、参加者が 20 名前後集まり、松沢求策という人物の功績と生家「若松屋」が結びついた形で認識を深めてもらうことに寄与した。クラブ会員数は、10 名から 30 名に増えた。  
○若松屋パンフレット・求策資料を制作し、観光案内所、近隣施設に配布し、5000 部制作したものが残りわずかとなった。

○新聞・情報誌・雑誌・ラジオ・テレビに昨年 15 回以上取り上げられた。この事業と松沢求策という人物・若松屋のことをより多くの方に知ってもらうことが出来た。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

さらに観光客への認知度アップにつなげるために旅行会社、出版会社等に制作したパンフレット、資料などで積極的に情報提供し、観光客向けに求策ミニ講座を開催し、啓蒙活動に努める。また、2016 年度秋に求策の戯曲の上演をきっかけに、高校、民間劇団に演劇の題材として取り上げてもらう活動をする。

##### 【目標・ねらい】

すでにある観光資源の掘り起こし。安曇野・穂高の新スポットの一つとして若松屋を認知してもらい、求策という人物を知ってもらい、地元の誇りとして再認識してもらい。

##### ※自己評価【 A 】

##### 【理由】

この事業を取り組む中で、マスコミ等の取材意欲を喚起しラジオ放送や新聞取材、雑誌掲載多数など事業以上の効果が得られたこと。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある